

BA

(19) JAPAN PATENT OFFICE (JP)

(12) Japanese Utility Model Application Laid-Open (JP-U)

(11) Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 06-50056

(43) Laid-Open Date: July 8, 1994

Request for Examination: Not requested yet

Number of Claims: 2 (2 pages in total)

(21) Utility Model Application No.04-86718

(22) Utility Model Application Date: December 17, 1992

(71) Applicant: 000001270

Konica Corporation

1-26-2 Nishi Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo

(72) Inventor: Takashi Shimose

c/o Konica Corporation

2970 Ishikawa-cho, Hachioji-shi, Tokyo

(54) TITLE OF THE INVENTION: Photographic Print

(57) Abstract:

Scope of Claim for a Utility Model

[Claim 1]

A perforated photographic print having a plurality of holes for sheet retainer, the holes being aligned in single line along a first edge of the print, characterized in that:

a sensitive layer is formed only on a portion of the front side of the print wherein the portion excludes at least one section having a predetermined width and being located along at least one edge adjacent to the said first edge; and

the section on the front side of the print and the back side of the print can be marked with a pencil.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-50056

(43)公開日 平成6年(1994)7月8日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
G 0 3 C	1/765			
B 4 2 D	1/08	M 8604-2C		
	3/04	C 8604-2C		
G 0 3 C	1/95			

審査請求 未請求 請求項の数2(全2頁)

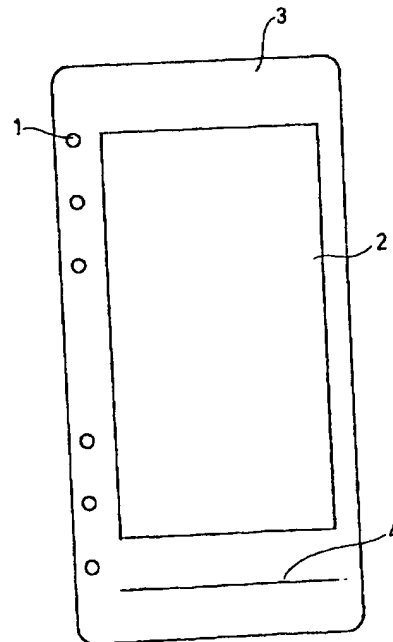
(21)出願番号	実願平4-86718	(71)出願人	000001270 コニカ株式会社 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
(22)出願日	平成4年(1992)12月17日	(72)考案者	下瀬 隆士 東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式 会社内

(54)【考案の名称】 写真プリント

(57)【要約】

【目的】 ペーパーホルダに綴じることができて写真がプリントされる表面にも鉛筆等で写真の説明を記入することができる写真プリントの提供。

【構成】 一辺縁に沿って複数の綴じ爪用穴が一行に穿設された写真プリントにおいて、感材層が表面の前記一辺の片隣りまたは両隣りの辺の縁に沿った所定幅部分を除いた部分にだけ設けられていて、表面の該所定幅部分と裏面とに鉛筆書きし得るプリント。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 一辺縁に沿って複数の縦じ爪用穴が一行に穿設された写真プリントにおいて、感材層が表面の前記一辺の片隣りまたは両隣りの辺の縁に沿った所定幅部分を除いた部分にだけ設けられていて、表面の該所定幅部分と裏面とに鉛筆書きし得ることを特徴とする写真プリント。

【請求項2】 表面の前記所定幅部分及び裏面に罫線が印刷されている請求項1の写真プリント。

【図面の簡単な説明】

2

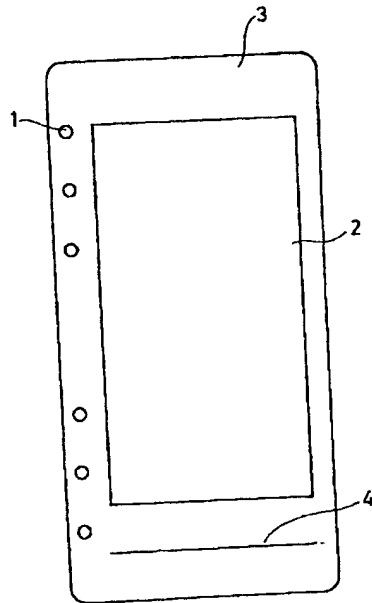
*【図1】 本考案の写真プリントの例を示す表面図である。

【図2】 本考案の写真プリントの例を示す裏面図である。

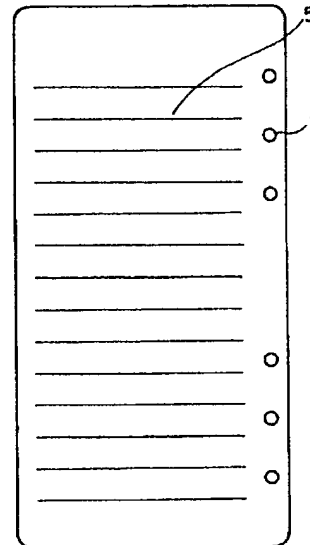
【符号の説明】

- 1 穴
- 2 感材表層
- 3 上部地紙部
- 4 下部地紙部
- *10 5 裏面地紙部

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は写真プリント、特にルーズリーフ式にペーパーホルダに綴じ込みできる写真プリントに関する。

【0002】

【従来の技術】

上述のような写真プリントは実開昭59-1055号公報によって知られている。しかし、それは、表面の全面に感材層を有する普通の写真プリントに綴じ爪用穴を設けたものであるから、裏面をメモ欄として利用することができても表面に写真の説明を鉛筆で書き込むことのできないものであり、写真の説明を知るには一々裏面を見ねばならないという問題があった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

本考案は上述の問題を解消するためになされたものであり、写真の簡単な説明は裏面を見なくても知れるようなルーズリーフ式に綴じられる写真プリントの提供を目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本考案は、一辺縁に沿って複数の綴じ爪用穴が一行に穿設された写真プリントにおいて、感材層が表面の前記一辺の片隣りまたは両隣りの辺の縁に沿った所定幅部分を除いた部分にだけ設けられていて、表面の該所定幅部分と裏面とに鉛筆書きし得ることを特徴とする写真プリントにあり、この構成によって前記目的を達成する。

【0005】

【作用】

すなわち、本考案の写真プリントは、表面の感材層が設けられていない所定幅部分と裏面に鉛筆書き等で写真の説明を記入することができるから、写真の要点説明を表面に書くことで裏面を見なくても済ませるようにできる。

【0006】

【実施例】

以下、本考案を図面に基づいて説明する。

【0007】

図1および図2は考案の写真プリントの例を示す表面図および裏面図であり、図1において、1は約170mm×95mmのシステム手帳の綴じ爪が通る6箇の穴、2は表面の写真がプリントされる感材表層、3は上辺縁に沿った感材層の設けられていない鉛筆で書き込みのできる上部地紙部、4は同じく下辺縁に沿った下部地紙部であり、下部地紙部4には罫線が印刷されている。なお、図1では感材表層2の左右に地紙部が残されているが、この左右の地紙部はなくてもよいし、また上部地紙部3と下部地紙部4のうちの一方はなくてもよい。

【0008】

図2において5は感材層の設けられていない鉛筆で書き込みのできる裏面地紙部であり、裏面地紙部5にも罫線が印刷されている。この罫線や表面の下部地紙部4の罫線もなくてもよいし、また表面の上部地紙部3に罫線が設けられていてもよいことは勿論である。

【0009】

【考案の効果】

本考案の写真プリントは綴じ穴によってペーパーホルダに綴じることができて、しかも表面の上部または下部地紙部に写真についての説明が鉛筆書き等で書けるから、裏面を見なくても表面に記載された説明は知ることができるという顕著な効果を奏する。